

光市記者発表資料

平成30年9月26日

件名

シンポジウム「光の玄関づくり～光駅周辺の未来をかんがえる～」
の開催について

内

容

光駅周辺地区の機能の向上や交通環境の高度化を進め、「まちの玄関口」にふさわしい魅力あふれる空間とするため、市では、現在、整備の方向性や全体像を明らかにする基本構想の策定に取り組んでいます。このたび、世代やお住まいの地域を問わず、多くの皆さんと“まちぐるみ”で光駅周辺のまちの将来を考えていくに当たり、シンポジウムを開催することとしましたのでお知らせします。

記

- 1 日時 10月31日（水）午後1時30分～午後4時30分
- 2 会場 光市民ホール 小ホール
- 3 主催 光市、一般財団法人自治総合センター
- 4 内容（主なプログラム）
 - (1) 基調講演
 - ア 講師 むらやま あきと 村山 顕人 氏（東京大学 大学院工学系研究科 准教授）
演題「これからの都市の空間戦略と拠点の役割」
 - イ 講師 こばやし まさみ 小林 正美 氏（明治大学副学長、理工学部建築学科 教授）
演題「協働と連携のまちづくり」
 - (2) 光市の取組紹介
 - (3) ワカモノ未来予想図
8月に実施した若者ワークショップの成果発表
 - (4) パネルディスカッション
 - ア テーマ：「にぎわい」と「うるおい」あふれる“まちの玄関”
 - イ コーディネーター：いかるが しんじ 鵜 心治 氏
(山口大学 大学院創成科学研究科 教授)
 - ウ コメンテーター：小林正美 氏、村山顕人 氏
 - エ パネリスト：おおたにやすひこ 大谷泰彦（フリータレント）、ちかま まゆみ 近間真由美（建築士）、
あだちもととき 足立基樹（光商工会議所青年部）、
つじの みつる 辻野 満（国土交通省）
- 5 入場料 無料（どなたでも聴講いただけます）
- 6 その他
このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです

問合せ

光市 建設部 都市政策課 都市計画係

担当：山本 康平 ☎（0833）72-1574

光の玄関づくり

シンポジウム

～光駅周辺の未来を かんがえる～

平成30年

10月31日 水

13:30～16:30
(13:00開場)

光市民ホール 小ホール
光市島田四丁目13-15

プログラム

①基調講演

演題「これからの都市の空間戦略と拠点の役割」
講師：村山顕人氏(東京大学大学院 准教授)

演題「協働と連携のまちづくり」
講師：小林正美氏(明治大学 副学長)

④パネルディスカッション

テーマ「にぎわい」と「うるおい」あふれる”まちの玄関”

コーディネーター：鶴 心治氏(山口大学大学院 教授)

コメンテーター：小林正美氏、村山顕人氏

パネリスト：大谷泰彦氏(フリータレント)

近間真由美氏(建築士)

足立基樹氏(光商工会議所青年部)

辻野 満氏(国土交通省)

入場
無料

②光市の取組紹介

③ワカモノ未来予想図

主催 光市、一般財団法人自治総合センター

後援 総務省、国土交通省中国地方整備局、山口県、(一社)山口県建築士会、(公社)日本都市計画学会中国四国支部、(公社)山口県バス協会、(一社)山口県タクシー協会、(一社)山口県建設業協会、(一社)山口県測量設計業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、光商工会議所、光市観光協会(順不同)

問合せ

光市 建設部 都市政策課

〒743-8501 光市中央六丁目1-1 TEL:0833-72-1574 FAX:0833-72-3478 Eメール:toshi@city.hikari.lg.jp

このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです



基調講演 講師



村山 顕人氏

Akito Murayama

東京大学 大学院工学系研究科 准教授



小林 正美氏

Masami Kobayashi

明治大学副学長、理工学部建築学科 教授

【演題】 これからの都市の空間戦略と拠点の役割

2004年東京大学大学院工学系研究科都市工専攻博士課程修了、博士(工学)。東京大学特認研究員、名古屋大学助教授・准教授などを経て2014年から現職。専門分野は都市計画、(公共政策としての)都市デザイン、まちづくり。名古屋市や静岡県など多数の自治体の都市計画マスタープランや立地適正化計画の策定に携わる。

2004年日本都市計画学会論文奨励賞受賞、2013年日本木材青年団体連合会第16回木材活用コンクール第4部門(ランドスケープ・インスタレーション)賞共同受賞、2015年日本環境共生学会学会賞「著述賞」共同受賞。著書に「都市・地域の持続可能性アセスメント:人口減少時代のプランニングシステム」「都市計画学」(いずれも共著:学芸出版社)など多数。

【演題】 協働と連携のまちづくり

1989年東京大学工学系研究科建築学専攻博士課程修了、博士(工学)。丹下健三・都市建築設計研究所、(株)アルキメディア設計研究所、明治大学専任講師助教授などを経て2003年から現職。2016年に同大副学長(総合政策担当)に。専門分野は都市計画・建築計画、建築設計および都市デザイン。「シャレットワークショップ」の手法により全国各地でまちづくり活動に参加。東京の下北沢地区や高梁市、姫路市などの都市デザインも手掛ける。

1999年高梁街並みデザイン賞受賞、2016年「姫路駅北駅前広場および大手前通りプロジェクト」グッドデザイン特別賞受賞。著書に「市民が関わるパブリックスペースデザイン」(エクスナレジ社)など多数。

パネルディスカッション

テーマ

「にぎわい」と「うるおい」あふれる“まちの玄関”

コーディネーター



鵜 心治氏

Shinji Ikaruga 山口大学大学院創成科学研究科 教授

1991年九州大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。博士(工学)。日本電信電話株式会社建築部、山口大学工学部感性デザイン工学科助教授を経て現職。専門分野は都市計画、都市デザイン、景観計画。2013年日本建築学会賞(論文)を受賞。著書に「中心市街地再生と持続可能なまちづくり」(共著:学芸出版)、「まちづくりデザインのプロセス」(共著:日本建築学会)など多数。光市都市再生推進協議会会長、光駅周辺地区拠点整備基本構想検討会議会長。山口県都市計画審議会会長他。

コメンテーター

小林 正美・村山 顕人 (基調講演講師)

辻野 満氏 Mitsuru Tsujino



岩国市出身、国土交通省中国地方整備局建設部都市・住宅整備課長。2011年国土交通省入省。2013年復興局原子力災害復興班へ出向。国土交通省道路局、住宅局、国土技術政策総合研究所企画部企画課長補佐を経て、2018年より現職。光市都市再生推進協議会オブザーバーとして、本市のコンパクトなまちづくり(立地適正化計画)に携わる。

パネリスト

大谷 泰彦氏 Yasuhiko Otani



長門市出身、光市在住。フリータレント。“ヤスベエ”の愛称で知られ、明るく元気なキャラで親しまれる。テレビやラジオはもちろん、イベントMCや講演など地元を中心に幅広く活躍中。泉地酒大使や商店街応援サポーターなど、まちを元気にする活動にも携わる。FM山口の「ザ・ムーブマン」(毎週日曜18:30~)など出演多数。趣味は映画鑑賞とギター演奏。

近間 真由美氏 Mayumi Chikama



光市出身、在住。建築士。(株)ヒロノハウジング勤務。1996年から建築の仕事に携わり、山口県建築士会女性副委員長や光市景観計画策定市民協議会委員などを歴任。現在は、光市都市計画審議会委員として、本市の都市計画に携わる。「光がんだきくらぶ(光駅前清掃ボランティア)」の発起人メンバーの一人で、現在も活動を続けている。趣味は魚を釣って、料理して食べること。

足立 基樹氏 Motoki Adachi



兵庫県出身、光市在住。(株)光ギフトセンター専務取締役。千葉県から1ターン。光商工会議所青年部で地域活性化事業などに取り組むほか、2016年に新設された光市観光協会広報委員長に就任。協会ホームページ「ツアーガイドひかり」の刷新・拡充など広報活動を精力的に展開し、訪問者数の大幅増を実現させた。趣味は旧車、カメラ、SUPフィッシングなど。

ワカモノ未来予想図

週刊誌の特集に見立てた光駅周辺地区の未来に関する記事(未来予想図など)を編集部(グループ)の一員となった市内外の若者がデスク(ファシリテーター)や仲間とともに意見交換しながら作成。光駅周辺の現実をしっかりと見つめつつも、若者ならではのユニークな発想やアイデアが詰まった魅力あふれる特集記事を発表します。若者が考える未来予想図とは?



問合せ

光市 建設部 都市政策課

〒743-8501

光市中央六丁目1-1

TEL:0833-72-1574

FAX:0833-72-3478

Eメール:toshi@city.hikari.lg.jp